

# 第一回 Selective Modernity ワークショップ

## 開発のなかの近代

### ——モダニティ論の新たな展開に向けて——

戦後に唱えられた近代化論とそれにもとづく開発論は、西洋中心主義と被開発地域への性急な対応のゆえに、批判されてしかるべき多くの問題を生み出してきた。それ以降、モダニティと開発の関係は否定的にしか語られてこなかった。しかし近年、開発の分野では被開発地域の人々の意思・考え方や生活様式からその地域の問題を捉え直し始めている。他方、近代論でも multiple modernities や entangled modernities といった概念によって、従来の近代像を批判しつつ、モダニティの枠組みを組み替えようとしている。今回のワークショップでは、開発に関する具体的研究から、モダニティ論の新たな方向性を探る。

主催：Selective Modernity 研究会  
(代表：三島憲一)

問い合わせ：大阪大学・人間科学部・文明動態学講座  
TEL & FAX：06-6879-8094  
E-Mail：kimura@gmx.net 木村裕之  
<http://bunmei.hus.osaka-u.ac.jp/>

2005年11月19日(土)、20日(日)  
大阪大学 人間科学部 東館205室

11月19日(土)

14:00～ 開会の辞

14:30～ 西川潤 早稲田大学 政治経済学部 教授  
「グローバル化と開発」

16:00～ 南真木人 国立民族学博物館 民族社会研究部 助教授  
「ネパールの近代化とマオイスト内乱」

11月20日(日)

11:00～ 木宮正史 東京大学 大学院総合文化研究所 助教授  
「韓国・北朝鮮の近代化と世界システム：自律と連携の狭間で」

12:30～ (昼休み)

13:30～ 全体討論



交通案内

<http://www.hus.osaka-u.ac.jp/common/access/>